

(図左上部の口上)

東あづまにて人形にんぎょうしばいとなん呼よばわる物もののありつるは

萬人ばんにんのかねてしり多おほし木きびき町まちならぶ風評ふうひやうの

ふき屋町ふきやまちにかぶき座ざのありしころ人形座にんぎょうざは外神田そとかんだ

なる土地風とちふうの気早きははやに因ちなむ薩摩座さつまだや多おほにし

武総ぶさうのあわいなるなにしおほ両国りやうこくの米よねさわ町まちに

たれ結城座ゆづきざと評判ひやうばんのよき世よの中なかも浮うき沈しづみ

はや十六・あまり二八余とじつぎの光陰いまを今むかしは昔すしと過すぎにしける

爰こゝに中村座長なかむらざちやうが十年とこせあまりの心こゝろもとどき名なも

大坂おんさかのみやこにてうわさも丸まるに高たかの葉はの文楽ぶんらく

座主ざぬしと時ときにかなひし人にん気きをはかり昔むかしし好このみを

さる若町わかまちの二丁目にぢやうにあらたにむねをしつらいて

名なも日ひの本もとにとどろける越路太夫こしぢだゆうをいしづゑに

さすがに場所ばしよの広助ひろすけも入いりにくまなき住太夫すみたゆう

桐竹余地きりたけよちもなき程ほどにうわさも吉田よしたのその

外ほかに名なもうり出だしのかほぞろい久ひさくにての

お目めみ多おほに先まきをきそひて見みまほしと

日毎ひごとに入いりのいやましてさかゑなりける

事ことになん

雲出堂主人述